

城西大学研究年報 既刊総目次

城西大学教養関係紀要 第1巻 (1977年3月)

新大陸文化史の諸問題——特にコロンブス期文化を中心として——	貞未堯司
首都圏の都市成長前線帯外縁部における商業地域の形成 ——埼玉県越生町の1883年～1902年の変容をめぐって——	田村正夫
Visuddimagga 源泉資料年代論	森祖道
アンドレ・マルロー総合年譜(I)	堀田郷弘
『ペリクリイズ』の時の風光——一つの解釈	戸所宏之
日本における初期の気象組織の形成	鯉沼寛一
本学の体力測定結果の一考察——第1報——	横内靖典
バレーボールにおけるスパイクの研究	明石正和
体力増進および維持に関する諸問題についての一考察	畠山栄子
《基礎づけ》の序文	山口勲
父の終焉日記と観無量寿経の世界	黄色瑞華

第2巻 (1978年3月)

ラテン=アメリカにおける考古学上の諸問題	貞未堯司
首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成 ——飯能市の1880～1890年の変容をめぐって——	田村正夫
『サマンタパーサーディカー』の「阿闍梨相承」	森祖道
アンドレ・マルロー総合年譜(II)	堀田郷弘
言語論哲学の基礎を求めて——ヴィトゲンシュタイン研究(I)	山口勲
T. S. エリオットの本質(上)——詩人・批評家・劇作家として——	鮫島久男
『ヴェロオナの二紳士』の黙示——デュウリアの変装をめぐって	戸所宏之
大腸菌における集団密度並びに遺伝子頻度の適応度に及ぼす影響	小須田和彦
足関節捻挫を防止するTAPINGの役割	武藤幸政
バレーボール選手の体力に関する研究 ——第1報 全日本高校選抜男子選手の体力について——	明石正和
身体運動としての一輪車乗用について ——学習過程における練習効果について——	畠山栄子
本学の体力測定結果の一考察——第2報——	永都久典

『父の終焉日記』の人物構想（補遺）……………黄色瑞華

第3巻（1979年3月）

- アッタカターの源泉資料(上) — 研究序説 —……………森 祖 道
- 言語論哲学の基礎を求めて — ヴィトゲンシュタイン研究(Ⅱ) —……………山 口 勲
- ペイターの「W. モリス論」のゆくえ……………萩 原 博 子
- 首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成
 — 飯能市における 1880~1890 年の店舗規模・納税額を中心に —……………田 村 正 夫
- 現代日本における青少年の疎外状況について……………松 浦 孝 作
- ショウジョウバエにおける同一遺伝子座支配のアイソザイムの生化学的研究
 — クロショウジョウバエアロザイムの生化学的差異とその生物学
 的意義 —……………成 瀬 澄 子
 佐々木 美枝子
- バレーボール選手の体力に関する研究
 — 第2報 城西大学男子選手の体力について —……………明 石 正 和
- 身体運動としての一輪車乗用について
 — 第2報 練習効果と性格検査との関係について —……………畠 山 栄 子
- 体育学の位置づけについての研究
 — 特に身体運動の科学的分析について —……………横 内 靖 典

第4巻（1980年3月）

- 言語論哲学の基礎を求めて — ヴィトゲンシュタイン研究(Ⅲ) —……………山 口 勲
- 首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成
 — 飯能市における 1880 年代のサービス業・繊維商品を中心に —……………田 村 正 夫
- 大腸菌における頻度依存適応度……………小須田 和 彦
- 一輪車運動のバイオメカニクスの研究 — (1) 基調動作の分析 —……………明 石 正 和
 斎 藤 保 夫
 横 内 靖 典
 武 藤 幸 政
 畠 山 栄 子
 永 都 久 典
- サッカー ゴールキーパーの動作分析
 — PK 時におけるゴールキーパーの SAVING FORM について
 の基礎実験(1) —……………永 都 久 典
- アメリカにおける「スポーツ外傷の TREATMENT」について……………武 藤 幸 政

「門松立てず、煤はかず」考 黄色 瑞 華

第5巻 (1981年3月)

アッタカターにおける Porānā 森 祖 道
『ヴェローナの二紳士』の素材と構造 小 野 昌
T. S. エリオットの本質(中) — 詩人・批評家・劇作家として — 鮫 島 久 男
THE DEVELOPMENT OF THE COGNITIVE
CODE-LEARNING THEORY
— Trends in Language Methodology in the United States — 田 村 文 子
秋の映像 — キーツの『秋に寄せて』 — (一) 永 井 豊 実
R. ニャナデシカンの一般化主成分分析について 新 井 宏 尚
住居構造・形態と居住者のパーソナリティとの関係
— 特に YG 検査, MAS などとの関連について — 駒 崎 勉
クロショウジョウバエにおける生存力に及ぼす近交の効果 小須田 和 彦
Drosophila virilis の酸ホスファターゼ・アロザイムの遺伝生化学的研究(1)
— 精製と性質 — 成 瀬 澄 子
膝関節の Injuries と Taping について 武 藤 幸 政
本学学生の体力測定結果の一考察 — 第3報 — 横 内 靖 典
明 石 正 和
斎 藤 保 夫
畠 山 栄 子
武 藤 幸 政
永 都 久 典
『ひとり言』から「俳諧小言」へ 黄色 瑞 華

第6巻 (1982年3月)

A. Pope のテムズ川観 石 川 郁 二
The Study of “The Bastard” by Erskine Caldwell (I) 金 勝 久
『Ode to a Nightingale』一考察 — 歌声に耳を澄ます時 — 永 井 豊 実
T. S. エリオットの本質(下の1) — 詩人・批評家・劇作家として — 鮫 島 久 男
FRÜHNEUHOCHDEUTSCH UND BUCHDRUCKERKUNST
II. Die Antinomie ‚geschrien↔gesprochen‘ 藤 井 明 彦
アンドレ・マルロー総合年譜(Ⅲ) 堀 田 郷 弘
Lecture de Gaston Bachelard et sa Conscience de Soi 越坂部 則 道

キイロショウジョウバエの雄の交尾に関する遺伝的変異	小須田 和 彦
<i>Drosophila virilis</i> の酸性ホスファターゼ・アロザイムの遺伝生化学的研究(2)	
—アロザイム活性の系統内変異—	成 瀬 澄 子 寺 田 理 枝
本学運動競技選手の最大酸素摂取量	明 石 正 和 永 都 久 典 横 内 靖 典 斎 藤 保 夫
—一輪車走行時の作業強度の研究—	永 都 久 典 横 内 靖 典 斎 藤 保 夫 明 石 正 和 武 藤 幸 政 畠 山 栄 子
本学学生の体力測定結果の一考察—第4報—	横 内 靖 典 明 石 正 和 斎 藤 保 夫 畠 山 栄 子 武 藤 幸 政 永 都 久 典
アンドレ・ジッドの方法V—生命の美学『イザベル』をめぐって—	陶 山 曉

第7巻 (1983年3月)

T. S. エリオットの本質(VI) —詩人・批評家・劇作家として—	鮫 島 久 男
The Development of Community Language Learning, The Silent Way and Suggestopedia in Comparison with Other Methods —Trends in Language Methodology in the United States—	Fumiko Tamura
キーツとワーズワース—手紙におけるワーズワース—	永 井 豊 実
本学学生の体力測定結果の一考察—第5報—	横 内 靖 典 明 石 正 和 斎 藤 保 夫 畠 山 栄 子 武 藤 幸 政 永 都 久 典
循環機能に関する研究—一般学生の検査による実態(第1報)—	畠 山 栄 子 横 内 靖 典
メランコリアとアマツォーネ(I)	河 内 信 弘

第8巻 (1984年3月)

Aspects of the Acquisition of English —The Four Skills—	Fumiko Tamura
バレーボールのスパイク動作に関する研究	明石正和 永都久典
高校生の各年代別各種スポーツ別筋力測定について —等速性筋緊張について—	武藤幸政
メランコリアとアマツォーネ(Ⅱ)	河内信弘

第9巻 (1985年3月)

〔研究ノート〕 世界史教科書にみる中世とルネサンスの記述について —暗黒の中世とルネサンスの春と—	小野昌
漱石の『文学論』における科学の意味について	立花太郎
バレーボール選手の体力に関する研究 —女子ユニバーシアード候補選手の体力について—	明石正和
地域社会における余暇志向についての一考察 —坂戸市について—	永都久典 斎藤保夫 武藤幸政 横内靖典 明石正和 畠山栄子
ストレッチングの筋電図学的研究	武藤幸政

第10巻 (1986年3月)

キイロショウジョウバエの雄の交尾能力に関する遺伝的変異 Ⅱ. 加齢効果	小須田和彦
リュウコ体の色素増感光酸化反応 Ⅰ. リュウコウラニンのメチレンブルーおよびローズベンガル 増感剤による光酸化反応	勝呂宏 堀合公威
クロショウジョウバエグリセロールリン酸脱水素酵素アロザイムの 遺伝生化学的研究 3. 生化学的比較	富永浩子 成瀬澄子

本学学生の体力測定結果の一考察——第6報——	武藤幸政 斎藤保夫 横内靖典 明石正和 畠山栄子 永都久典
運動選手のSTRETCHINGについての基礎的研究	永都久典 横内靖典
中高年におけるストレッチングの事例的研究	横内靖典

第11巻 (1987年3月)

リュウコ体の色素増感光酸化反応	
II. リュウコウラニンのスミアクリルブルー増感剤による 光増感酸化反応	勝呂宏 堀合公威
HPLCを用いたショウジョウバエの酸性ホスファターゼアロザイム 精製の改良法	富永浩子 成瀬澄子
中高年における健康運動の事例的研究 ——第二報 健康運動と体力の関連について——	永都久典 横内靖典 佐藤幹夫
循環機能に関する研究 ——一般学生の検査による実態(第2報)——	畠山栄子

第12巻 (1988年3月)

運動選手の筋力について ——瞬発力について——	武藤幸政 吉松俊一
中高年における健康運動の事例的研究 ——第三報 運動プログラムと測定値との関連について——	横内靖典 永都久典 佐藤幹夫 秋葉盛夫
バレーボール選手の体力に関する研究 ——アジア大会候補選手の体力について——	明石正和

本学学生の体力測定結果の一考察

——第7報 1974年以降の推移について——	畠山栄子
	横内靖典
	斎藤保夫
	明石正和
	武藤幸政
	永都久典

第13巻 (1989年3月)

リュウコ体の色素増感光酸化反応

(その1) リュウコエオシンYおよびリュウコフロキシンの

ローズベンガル増感剤による光増感酸化反応	勝呂宏
	堀合公威

腰痛の早期発見と治療	武藤幸政
------------	------

第14巻 (1990年3月)

キイロショウジョウバエにおける雄の交尾能力に及ぼす染色体相互作用	小須田和彦
----------------------------------	-------

クロショウジョウバエ・グリセロール-3-リン酸脱水素酵素

cDNAのクローニングとその塩基配列	富永浩子
	成瀬澄子

スポーツと腰痛に関する一考察	武藤幸政
	吉松俊一

第15巻 (1991年3月)

四国山地から土佐湾にかけての更新統モラッセ性堆積物の研究

——特に城山層について——	加賀美英雄
	満塩大洗
	武政広希

Population Studies in *Escherichia coli*:

Selection for Lactose Utilization	Kazuhiko Kosuda
	Peter E. Smouse

バレーボール選手の体力に関する研究

——全日本ジュニア男子候補選手について——	明石正和
-----------------------	------

サッカーの指導者及び指導内容に関する比較研究

——旧西ドイツと日本について——	永都久典
	田嶋幸三

循環機能に関する研究 (第3報)	畠山栄子
	横内靖典
	田中博明
	石井宏

第16巻 (1992年3月)

高知県東南部の奈半利川付近にみられる第四系	加賀美英雄
	満塩大洗
	野沢繁
The Embeddability of a Locally Compact Flow in Bebutov Flow	河野繁雄
クロシヨウジョウバエ・ α GPDH ^S アロザイム cDNA の塩基配列とそのアミノ酸変異	富永浩子
	成瀬澄子

第17巻 (1993年3月)

高知県西南部の第四系の再検討	加賀美英雄
	満塩大洗
	野沢繁
	小林哲之
キイロシヨウジョウバエにおけるメラニン性腫瘍遺伝子, <i>tu-91 k</i> , の 染色体配置	小須田和彦
循環機能に関する研究 (第4報)	畠山栄子
	石井宏
8対8サッカーゲーム中の心拍数について —埼玉県大学サッカー選抜プレーヤーを対象として—	永都久典
	大橋二郎
	磯川正教
	鎌田俊司
	福井真司

第18巻 (1994年3月)

キイロシヨウジョウバエにおけるメラニン性腫瘍形成 に及ぼす老化の影響	小須田和彦
---	-------

四万十川の流路変化と興津隆起帯の形成	加賀美 英雄 満 塩 大 洗 野 田 耕一郎
陸上競技女子中・長距離選手の事例的研究 (第1報) — 競技成績, 特に 3000 m の推移について —	横 内 靖 典
スポーツ選手の形態および最大無酸素パワー に関する事例的研究	明 石 正 和 横 内 靖 典 武 藤 幸 政 島 山 栄 子 永 都 久 典

第 19 卷 (1995 年 3 月)

キイロシヨウジョウバエの C-104 系統にみられる メラニン性腫瘍の生存力に及ぼす影響	小須田 和 彦
飯能層研究の背景と展望	加賀美 英雄 岡 野 裕 一 力 田 正 一 松 本 昭 二 阿比留 稔 須 田 邦 彦 相 田 一 郎